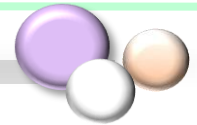


## プロジェクトについて



豊田市では、『**認知症やもの忘れがあっても、できる限り住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるまちづくり**』の推進にあたり、その本人やご家族の方の声を今後の取組みに反映させることを目的として、認知症当事者の方やそのご家族の方に記載していただく、「メッセージカード（ひとことカード）」の取組みを実施しました。

実施期間：令和4年7月～9月

(無記名です)

### メッセージカードをご記入いただく皆様へ（お願い）

#### 「あなたが望む とよたでの暮らし」 について、

日々の生活の中にある願い事や、生活の中で感じていることをご記入ください。名前の記入は必要ありませんので、率直に今の気持ちをご記入ください。なお、皆様の声は以下に活用させていただきます。

#### <メッセージカードの掲示>

- ・9月アルツハイマー月間における市役所啓発ブース
- ・認知症啓発イベント開催時

#### <事業への反映>

- ・第9期豊田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定への意見
- ・認知症ケアパスへの意見
- ・認知症の人の社会参加支援への意見 等

あなたが、これからも続けたいことや、やってみたいこと、願いなど、あなたの望みをどうか記してください。  
あなた自身の言葉が必要です。  
あなたの「ひとこと」が、きっと誰かに役立ち誰かを勇気づけます。



認知症とともに生きる私の願い  
～あなたが望む「とよた」での暮らしとは～  
あなたのひと言きかせてください

260件  
集まりました!

記載してくれた方

- 認知症当事者とその家族  
(カードを記載する方の認知症の進行の程度は問わず、また、キーパーソンが家族以外の場合には、家族に準ずる方でも可能としました。)
- 「ひとこと」をみたイベント参加者等

<カード配布協力機関> 地域包括支援センター / 居宅介護支援事業所/  
認知症カフェ / 介護保険施設/認知症介護家族会 ほか

## 届いた「願い」「思い」キーワード



本人

「前向きな気持ちや家族への感謝」「生きがい」「居場所（人との触れ合い）」

家族

「本人とともに生きる思い」「介護サービスの利用」「居場所（人との触れ合い）」

一般

安心して暮らせる「地域」



地域包括支援センター  
(認知症地域支援推進員)  
啓発WGメンバーと  
認知症サポーターが  
がんばりました!!

たくさんの方が  
来場されました!

【カードの色】

クリーム色：認知症当事者

ピンク色：家族

認知症理解啓発イベント『認知症とともに、生きる』  
会場内展示風景（令和4年9月17日開催）

# ～ 認知症のみなさんとその家族の声をお届けします ～

届いた「願い」「思い」は、イベントでの掲示のほかに、全ての市職員へ情報発信、動画を撮影して研修の休憩時間に配信など、いろんな形でお届けしています。

## 本人

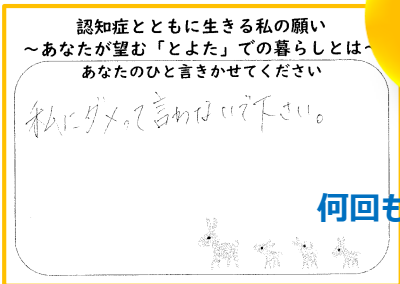
住みなれたお家で、家族と一緒に過ごしたい。 失敗しても ふつうに接してほしい。

主人に会いたい 親に会いたい ひまごに会いたい。 一人で病院に通うの たいへんです。

うまくできないことが 増えてきたけど、いろんなこと やってみたい。

いつまでもおシャレをしたい。 旅行に行きたい。 やれるだけ家事を手伝いたい。 悪い訪問販売 やめて！

何回も何回も聞くから おこられる。 悲しい。 車もとめられて どこにも行けない。



## 家族

認知症を遅らせる薬ではなく、改善され良くなる特効薬の開発を早くして頂きたいと思っています。

認知症とともに生きる私の願い ~あなたが望む「とよた」での暮らしとは~ あなたのひと言きかせてください

なにがかわるかわからない時、  
思の様に怒る母です。 それも母。  
きつい事は道ではない毎日ですが、  
決して怒らぬ。 母の人生の中に私はいたい  
言正して、共に歩むの。

最後まで一緒に暮らしたい。

離れる時間がほしい。

働いているので 土・日に家族会とか開催してもらえると参加できるのに・・・。

認知症の方が入りやすい施設が沢山ほしい、日曜日に喫茶店（認知症の方）など集う場所が近くにほしい

バスやタクシーなど公共交通機関を充実してほしい。巡回バスなどがあるといい、病院とスーパーが近かったり、行き来がしやすいとよい

元気で明るくしっかり者だった 大好きな母の言動が変わっていく・・・。そして、今後どのようにしていくのか募る不安。家族のみなさんはどのようにのりこえ、共に生きていこうのか知恵を学びたい。

一人でも多くの方が認知症に対して理解し、わけへだてなく、暮らしていける街であって、欲しいと思います。

認知症になった時に、相談できる場所や人を自分だけでなく、周りの人にも知ってもらえるよう、認知症の理解を深める場があると良い

声を届けるため、課内職員全員で動画作成・録音をしました！

車イスでも入りやすい店があるとよい。

飲食店に多目的トイレの設置を推進してほしいです

認知症の家族をもったら、どうしたらいいのか？どんな生活を送っているのか？情報交換のできる場所をたくさん増やしてほしいです。

介護する家族の経済的負担がゼロになる！

## 認知症とともに生きる私の願い～あなたが望む「とよた」での暮らしとは～

たくさんの方のご協力のもと、たくさんの「願い」をいただきました。

その「願い」を、多くの方に伝えるため、イベント等で活用しました。さらに、その「願い」を市政を担う全ての市職員にお伝えしました。さて、ここからがスタートです。

みなさんの「願い」は、受け取った方から次の方へ引き継がれていきます。

キャラバン・メイトさんが、認知症サポーター養成講座で、みなさんの「願い」の語り手となりました。

みなさんの「ひとこと」が、きっと誰かに役立ち、誰かが勇気づけます。

今後は、次期介護保険事業計画策定への意見として、認知症の理解促進のための情報として、活用させていただきます。



～認知症の人にやさしいまちづくりを目指して～

